

特定非営利活動法人 医療的ケアネット

2019 年度定期総会 報告・議案

1) 総会の目的たる事項

【報告事項】

- 1 2018 年度特定非営利活動にかかわる活動報告…………… 1
- 2 2018 年度活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記、財産目録、
承認の件…………… 2
監査報告書…………… 6

【決議事項】

- 第 1 号議案 2019 年度特定非営利活動にかかわる活動計画…………… 7
2019 年度特定非営利活動にかかわる活動予算…………… 9
承認の件
- 第 2 号議案 役員の退任について…………… 10
- 第 3 号議案 その他

2019 年 6 月 16 日（日）16 時 45 分～17 時 15 分

キャンパスプラザ京都 2 階ホール

【報告事項1】

(1) 2018（平成30年）度 特定非営利活動にかかわる活動報告

1 活動報告

(1) シンポジウムの開催

①2018年6月19日（日）総会記念シンポジウム「医療的ケアが必要な人たちを地域で支える」

「どんなに医療依存度が高くてもことわらない」を信条に子どもから高齢者まで様々の医療・介護・福祉施設を運営している医療法人信愛会の大石明宣先生に記念講演、各地からの報告として愛知県一宮市の医療的ケアネットワークの取り組みを檜の木福祉会の野崎貴詞氏に、綾部市の単独事業「訪問生活事業」の取り組みを生活支援センター「えがお」相談員の大石美也子氏とあやべ作業所施設長の大槻昌喜氏にしてもらった。この「訪問生活介護」の取り組みに注目が集まり、パーソナルアシスタントでの生活支援、生活介護等の通所、短期入所、住まい、親亡き後などをめぐる現状や課題について議論を深めることができた。

② 2019年1月19日（日）シンポジウム「あらためて医療的ケアとは何か」

①第3号研修の実施から6年目を経過。医療的ケアの現場で具体的にどう展開されているのか、今後、重度訪問介護、パーソナル・アシスタントなどとの関係で、どう進むべきなのか。
②学校のなかでの看護師の働きをどう評価するか、今後どう発展すべきなのか、全国でさまざまな対応があり、身分保障も含めて現状を把握し、今後の展望を拓くこと。この2点を論点にシンポジストとして、第3号研修を積極的に行っている沖縄のKukuruの鈴木恵氏、第3号研修の元を作ったALSさくら会の安達佳奈氏、地域ケアサポート研究所の下川和洋氏、大阪府立交野支援学校学校看護師の丹黒一寿子氏と中村津也子氏の報告を受けた。杉本理事長のコーディネーターで討論を行い、第3号研修、看護師問題など全国的に真剣に議論する場が少なく様々な課題があることが明らかになり、重要な問題提起となった。

(2) 「第3号研修」を普及するための活動

①「第3号研修テキスト」の独自発行

第3号研修を広げるためには、独自テキストが有用。また、評価が高い文科省HP版テキストの執筆者の協力も得て「子どもから大人まで」を編集方針に取り組み、7月に『たんの吸引等第3号研修テキスト』を当法人編で発行した。現在、各地の研修機関で活用されている。なお、厚労省もテキストを改訂中で書籍ではなく従来通りHPにアップされる予定。

③第3号研修実施の各地でのバックアップ

大阪府の研修機関となっていたが、法人の体制などを考え、数年研修もしていない、実施できる可能性も少ないため登録機関を返上した。

(3) 「京都市難病患者等ホームヘルパー養成研修」事業

今年度も受託し、2018年1月24日（木）に基礎課程Ⅰ（31名）、2月14日（木）に基礎講座Ⅱ（36名）の研修を京都アスニーの会議室で行いました。

(4) ホームページ、MLを通じて、さまざまな情報発信、医ケアに関する相談事業、意見交流を行いました。

【報告事項2】

2018年度 活動計算書

2018年4月1日～2019年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取入会金	31,000	
正会員受取会費	559,000	590,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	0	0
3. 事業収益		
自主事業収益	384,500	
受託助成金収益		
難病患者等ヘルパー養成研修助成金	600,000	984,500
4. その他収益		
受取利息	1	
雑収入	0	1
経常収益計		1,574,501
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給与手当	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
講師料	146,302	
会場費	97,360	
委託費	108,000	
会議費	26,900	
旅費交通費	185,550	
印刷費	364,733	
事務用消耗品費	1,838	
交流会費	90,676	
支払手数料	1,858	
その他経費計	1,023,217	
事業費計		1,023,217
2. 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
総会費	246,570	
委託費	259,200	
会議費	32,592	
旅費交通費	4,270	
通信運搬費	807	
印刷費	8,467	
事務用消耗品費	1,050	
支払手数料	20,670	
その他経費計	573,626	
管理費計		573,626
経常費用計		1,596,843
当期正味財産増減額		△ 22,342
前期繰越正味財産額		627,806
次期繰越正味財産額		605,464

2018年度 貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	567,014		
前払費用	38,450		
流動資産合計		605,464	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計	0	0	
資産合計			605,464
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0		
震災募金預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		627,806	
当期正味財産増減額		△ 22,342	
正味財産合計			605,464
負債及び正味財産合計			605,464

2018年度 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	シンポジウム	ヘルパー養成研修	事業費計	管理費	合計
(1) 人件費					
給与手当	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
総会費			0	246,570	246,570
講師料	33,411	112,891	146,302	0	146,302
会場費	69,620	27,740	97,360	0	97,360
委託費	108,000	0	108,000	259,200	367,200
会議費	600	26,300	26,900	32,592	59,492
旅費交通費	170,380	15,170	185,550	4,270	189,820
通信運搬費	0	0	0	807	807
印刷費	242,017	122,716	364,733	8,467	373,200
事務用消耗品費	1,838	0	1,838	1,050	2,888
交流会費	90,676	0	90,676	0	90,676
支払手数料	130	1,728	1,858	20,670	22,528
その他経費計	716,672	306,545	1,023,217	573,626	1,596,843
事業費計	716,672	306,545	1,023,217	573,626	1,596,843

3. 管理費の科目の中で、総会開催のためにかかった費用を、総会費としてまとめています。
その内訳は以下のとおりです。

会場費	35,320
委託料	191,592
通信運搬費	12,400
印刷費	7,258
合計 :	246,570

2018年度 財産目録

2019年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	281,475		
普通預金 京都銀行 吉祥院支店	258,311		
ゆうちょ銀行(振替貯金)	27,228		
前払費用			
2019年度総会・シンポジウム会場費	38,450		
流動資産合計		605,464	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
	0		
固定資産合計		0	
資産合計			605,464
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0		
震災募金預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			605,464

2018（平成30年）度 監査報告書

特定非営利活動法人医療的ケアネットの監事として、定款第15条4項にもとづいて、同法人2018（平成30）年度における決算書類および財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、特定非営利活動法人医療的ケアネットの業務および財産に関する不正の行為、または定款に違反する重大な事実はないものと認めます。

2019年6月13日

特定非営利活動法人医療的ケアネット

監事 平田 義



第1号議案

(1) 2019年度 特定非営利活動にかかわる活動計画

NPO 法人医療的ケアネットのこれまでの筋道と今後の課題

NPO 法人医療的ケアネットは、もともと1980年代後半に当時の交野養護学校の養護教諭・北川末幾子（現理事）の呼びかけで、内科校医であった杉本と話し合い、重い障害をもつ子どもたちに共通理解をすすめるために、関係するひと（主に教諭と医師）が集まり勉強会を関西医大男山病院（いまは廃院）で行ったところから始まりました。

以来30年余、関西医大小児科神経グループなどの勉強会から、重度脳障害をもつ子どもたちの親や支援者である非医療職の方々を含め、地域も大阪、京都、滋賀、兵庫などへと広がり、近畿を中心に医療的ケアセミナーにも発展しました。

参加した小児科医が、主に日本小児神経学会員であること、杉本が学会の社会活動委員会で医療的ケア支援を全国化しようとするなかで、各地の小児神経科医もセミナーの講師として招聘し、NPO 法人医療的ケアネットは広がっていきました。現在、医療的ケアセミナーは、日本小児科学会や日本小児神経学会が、医師や看護師を主に定期的で開催されるようになってきています。

NPO 法人医療的ケアネットが開拓し、普及してきた医療的ケアのセミナーは、すでに私たちの法人単独で開催する意味がなくなり、役割を終えたように思います。2012年に法制化された第3号研修はご存知の通りなかなか広がりませんが、法は残っています。もっと当事者や支援者のニーズにあったものに変えていかないといけないという課題があります。

「医療行為は医療者が行う」という方向性は、対象者が地域に増えれば増えるほど、看護師にたよるところが増加してきています。看護師の身分や地域での働き方、医療的知識の向上など多くの課題があります。しかし、この問題はNPO 法人医療的ケアネットが研修を行えばいいというものでもありません。

地域の現場での「的確な指示ができる医師」「しっかりした障害者目線で支援ができる看護師」「在宅や生活介護の現場での非医療職の医療的ケアへの働き方」そして、まだまだ不十分な「障害者支援制度」の改革など課題は多くあります。

さあ、そこでNPO 法人医療的ケアネットの現状はどうでしょう。主なメンバーは老いつつあります。職場も変わりました。さらに多くの団体等が開催するセミナーも増え、「医療的ケア」という言葉も少しは市民権を得ました。

これからのNPO 法人医療的ケアネットの役割を、どこに、どんなことを求めますか？
以下の主な課題を中心に、理事会や会員のみなさんとの議論を深めて取り組んでいきます。

主な課題

1. パーソナル・アシスタントの考え方の普及と制度の裏づけ、その不足部分の論議
生活介護、在宅介護、GH、そして入所などの問題。
重度訪問介護の弱点や利用上の問題点。

卒業後の支援の中心になるパーソナル・アシスタントの研究（札幌市など）

2. 福祉と医療の接点をさらに制度的に詰める。
とりわけ通学、通園、通所時の気管内吸引、人工呼吸器管理での各地のやり方を研究し、今後の各地での討論への資料提供をしていく。
3. 看護師の働き方を検討する。
学校内、生活介護内、GHなど、全国ではシステムがなく対応がバラバラ。看護師の身分保障、生活保障を含めて討論を深化させる。
4. 安全で安心な学校教育の視点からの討論を進める。
学校保健と医療的ケアの関係性、養護教諭と看護師（多くは非常勤）の関係性、看護師と担任教諭、校医・指導医と看護師、主治医の指示書の扱いなどが全国でバラバラである。子どもたちの立場にたった、より安全で安心な学校教育の視点からの討論が不足している。
5. 引き続き HP、ML など SMS を活用し、情報発信、医療的ケアに関する相談事業、意見交流をすすめる。
6. 理事会体制について
今後の NPO 法人医療的ケアネットの方向性、活動をどう展開していくか、理事会でスムーズに討論するために、体制の改変を行います。

(2) 2019年度 特定非営利活動にかかわる活動予算

2019年4月1日～2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収益		
1. 受取会費		
受取入会金	30,000	
正会員受取会費	556,000	586,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	0	0
3. 事業収益		
自主事業収益	385,000	
受託助成金収益		
難病患者等ヘルパー養成研修助成金		385,000
4. その他収益		
受取利息	0	
雑収入	0	0
経常収益計		971,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
講師料	80,000	
会場費	95,000	
委託費	80,000	
会議費	25,000	
旅費交通費	150,000	
印刷費	380,000	
事務用消耗品費	2,000	
交流会費	0	
支払手数料	2,000	
その他経費計	814,000	
事業費計		814,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
総会費	200,000	
委託費	259,200	
会議費	30,000	
旅費交通費	3,000	
通信運搬費	810	
印刷費	8,500	
事務用消耗品費	1,000	
支払手数料	20,000	
その他経費計	522,510	
管理費計		522,510
経常費用計		1,336,510
当期正味財産増減額		△ 365,510
前期繰越正味財産額		627,806
次期繰越正味財産額		262,296

役員の退任について

- 1) 理事退任 木下博美・篠原文浩・田中総一郎・出島 直・村上貴孝